

シラバス 自動車整備 科 二級自動車整備士 コース

講 義 名	＜学科＞ 二年次前期 電装品整備法1				
概要と目的	国家試験レベルの知識を身に付ける				
担 当 者	舟坂 義幸	単位数	10 時限	区分	学科
実務経験	カーディーラー等の整備工場において自動車整備の実務を経験した教員が電装品整備法1について教育を行う科目。				
講義対象	二年生	時 期	4月～9月中旬		
使用教材	二級ガソリン(P74～103)				
到達目標	国家試験レベルのエンジン電装品の理解				
成績評価	期末試験・出欠点・平常点 A評価が全体の25％、B評価が45％、C評価が30％を基準とする。				
授業計画					
1時限	バッテリー(起電力、放電特性曲線、充電特性曲線)P74～75				
2時限	バッテリー(容量、始動性能)P76				
3時限	バッテリー(比重と温度、放電量、凍結温度)P77				
4時限	バッテリー(寿命、整備)P78				
5時限	始動装置(概要、構造・機能)P79～82				
6時限	始動装置(エンジンの始動特性、スタータの出力特性)P82～83				
7時限	始動装置(整備、性能テスト)P84～86				
8時限	充電装置 P87～97				
伝達事項等					
校長	所 属		授業資格	実務経験	
	学科長	担当者			
			学科実習 あり	あり	

シラバス 自動車整備 科 二級自動車整備士 コース

講 義 名	<学科> 二年次前期 電装品整備法1				
概要と目的					
担 当 者		単位数		区分	
講義対象		時 期			
使用教材					
到達目標					
成績評価					
授業計画					
9時限	点火装置 P98～103				
10 時限	期末試験				
伝達事項等					
校長	所 属				
	学科長	担当者			

シラバス 自動車整備 科 二級自動車整備士 コース

講 義 名	＜学科＞ 二年次前期 電装品整備法2				
概要と目的	国家試験レベルの知識を身に付ける				
担 当 者	風間 功要	単位数	10 時限	区分	学科
実務経験					
講義対象	二年生	時 期	4月～9月中旬		
使用教材	二級シャシ				
到達目標	国家試験レベルの理解				
成績評価	期末試験・出欠点・平常点 A評価が全体の25％、B評価が45％、C評価が30％を基準とする。				
授業計画					
1時限	計器(スピードメータ、エンジン・タコメータ)P173～175				
2時限	計器(ウォータ・テンプレチャ・ゲージ、フューエル・ゲージ)P176～178				
3時限	計器(インジケータ)P178～179				
4時限	警報装置 P180～182				
5時限	外部診断器(スキャンツール)P183～185				
6時限	空気調和装置(概要、エアコンの分類)P186～187				
7時限	空気調和装置(冷凍サイクルを構成する機能部品)P188～191				
8時限	空気調和装置(冷凍サイクルを構成する機能部品)P192～195				
伝達事項等					
校長	所 属			授業資格	実務経験
	学科長	担当者		学科実習 あり	なし

シラバス 自動車整備 科 二級自動車整備士 コース

講 義 名	<学科> 二年次前期 電装品整備法2				
概要と目的					
担 当 者		単位数		区分	
講義対象		時 期			
使用教材					
到達目標					
成績評価					
授業計画					
9時限	空気調和装置(オートエアコン、整備)P196～203				
10 時限	対策問題				
11 時限	期末試験				
伝達事項等					
校長	所 属				
	学科長	担当者			